

2018年5月10日

大学キャンパスで大学生協電子マネーに対応した 「Cloud On-Demand Print」環境を構築

「Smart Work Innovation」で「制約からの解放」を実現 BYODにも対応

富士フイルムグループの富士ゼロックス株式会社（本社:東京都港区、社長:栗原 博）は、大学キャンパスにおいて大学生協組合の電子マネーに対応した「[Cloud On-Demand Print](#)」(クラウド・オンデマンド・プリント)環境を構築、今春から本格的に展開いたします。学校が所有するパソコンのみならず、学生が自分のパソコンやスマートフォンなどから出力データを登録し、キャンパス内にある生協管理のどのデジタル複合機からもプリント出力できる BYOD(Bring Your Own Device)に対応します。

すでに[大阪大学](#)、京都大学、立命館アジア太平洋大学などの各大学生協でこのプリント環境を実現しており、今後全国の大学生協に拡大します。

学生は通常、個人所有のパソコンやスマートフォンなどのデータをキャンパス内で出力できず、大学が管理するパソコンからプリンターに出力するか、USB メモリーを使って生協が管理する複合機から出力するかのいずれかで、その場合もファイル形式が制限されるといった制約を受けています。

そこで当社は、学生が自分のパソコンやスマートフォンなどで所有しているデータを必要な時に必要な場所で出力できるよう、大学の情報システム部門と協力、デジタル複合機をインターネットと接続し、大学生協電子マネーによる課金システムも整えることで、BYOD に対応する「Cloud On-Demand Print」環境を構築(概念図参照)しました。当社の価値提供戦略「Smart Work Innovation」*の提供価値のひとつ、「制約からの解放」を具現化する一例です。

「制約からの解放」と同時に、①文書のアップロード/プリント時の通信はSSLで暗号化、②文書に暗証番号をつけてアップロードが可能、③アップロードされた文書はプリントの有無にかかわらず指定した有効期限内で自動的に削除、④クラウドサーバーへのアクセスはユーザーIDとパスワードで管理—といったセキュリティ対策を講じています。

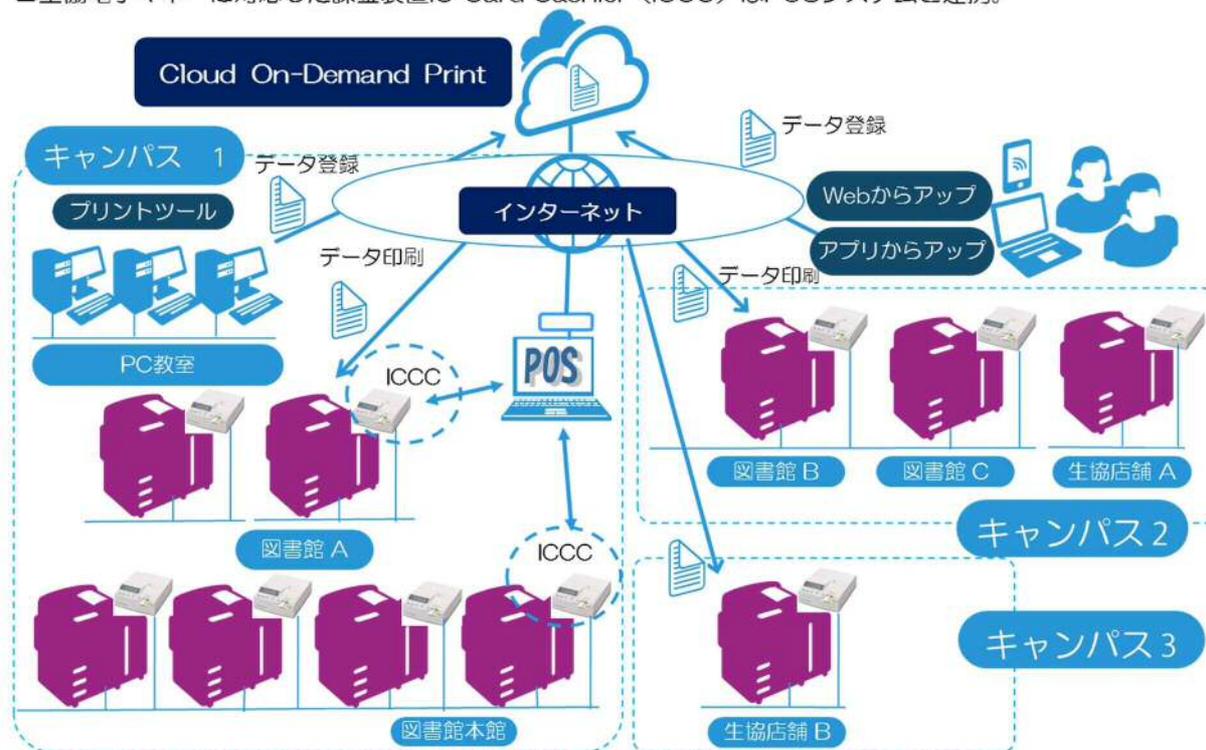
富士ゼロックスは、大学生協にとどまらず、モバイルワーカーの働き方改革を支援するクラウドサービスとして、利用者が個人の端末から出力することを想定したシェアオフィスやホテルなどにも「Cloud On-Demand Print」を導入しています。今後は、社内LAN/WAN環境に依存しないインターネット接続でのプリント環境を構築したい一般企業のサテライトオフィスやスポットオフィス、他企業間プロジェクトの現場事務所などに拡大してまいります。

* 「Smart Work Innovation」については、下記 URL をご参照ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/solution/promotion/innovation/>

Cloud On-Demand Print 環境 概念図

- ①Web②プリントツール③スマホアプリ、3種類の方法で印刷指示。
- デジタル複合機はインターネット接続され、BYODに対応したオンデマンドプリンターとして稼働。
- 生協電子マネーに対応した課金装置IC Card Cashier (ICCC) はPOSシステムと連携。



◆Cloud On-Demand Print® 基本サービス価格

商品名	標準価格(税別)	備考
Cloud On-Demand Print 基本サービス	1,000 円/月	ユーザー数：10 ユーザーまで 共用ユーザー数：10 ユーザーまで 登録できるファイル数：200 ファイルまで

注記 1: ユーザー数が 10 ユーザーを超える場合は、ユーザー追加オプションが別途必要です。

注記 2: 共用ユーザー数が 10 ユーザーを超える場合は、共用ユーザー追加オプションが別途必要です。

注記 3: 登録できるファイル数を追加する場合は、ユーザー追加オプション、または共用ユーザー追加オプションが別途必要です。

注記 4: 月額料金にはヘルプデスクのサポートを含みます。

注記 5: 契約期間：1 年間（以降自動更新）

・Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。